

受賞者の声（公開）

氏 名	佐藤 優樹		
受賞時所属	（所属） 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構		
	（職名） 主任研究員		
現所属	（所属） 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構		
	（職名） 主任研究員		
受賞テーマ名	統合型放射線イメージングによる放射能スマート可視化の社会実装		
受賞テーマにおける研究活動の現況			
福島第一原子力発電所（1F）の廃止措置に貢献するために、目に見えない放射能汚染を可視化するためのシステム開発を継続しています。具体的には、放射能汚染の2次元画像を描画するコンプトンカメラ（放射線可視化カメラの一種）に、レーザースキャンや写真立体復元による3次元環境モデリングを統合することで、放射能汚染の分布を3次元的に画像化する統合型放射線イメージングシステム iRIS（アイリス：integrated Radiation Imaging System）の実証試験を継続中です。さらに最近では、「わかしゃち奨励賞」に応募させていただいたテーマの通り、複数ロボットの連携による放射能汚染可視化の実現に向けて、異なる種類の複数のロボットに iRIS を組み合わせることに着手しています。			
今後における研究活動の展望			
放射性物質可視化システムである iRIS について、異なる種類の複数ロボットに統合して連携計測を実施することにより、放射能汚染を短時間でより効率的に可視化できるシステムの構築を目指します。近年では多種多様なロボットが開発されていますので、犬型、多脚、人型など、色々とコラボレーションの可能性を検討したいです。			
受賞後の反響・各賞の受賞等			
「わかしゃち奨励賞」の応募に至った基盤システムである iRIS について、その後に日本アイソトープ協会奨励賞や科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞を頂戴することができました。異なる複数のロボットと iRIS の統合・連携を通して、研究開発を発展させていきたいです。			
わかしゃち奨励賞への期待			
本賞の受賞を通じて、自分の研究開発を発展させるためのモチベーションアップにつながりました。この取り組みをご継続いただき、若手研究者のモチベーションアップを促していただけると嬉しいです。			